



鹿鳴草

cover episode

「春夏連覇」第98回を数える、全国高校野球選手権大会が始まりました。連日猛暑の中、今年も高校球児たちが熱戦を繰り広げています。また、深夜には、日本の裏側ブラジルでリオ・オリンピックが開催中です。何かと話題の多いこの夏ですが、今回は、高校野球について少し触れたいと思います。高校野球の世界において最も輝かしい称号、それが甲子園「春夏連覇」です。この偉業を達成したチームはわずかに7校しかありません。史上初の春夏連覇は1962年と意外に遅いのです。春の選抜で優勝した学校は、夏の甲子園で優勝はできないというジンクスが戦後長い間定着していました。初めてそのジンクスを打ち破り偉業を成し遂げたのが、62年、栃木代表の作新学院でした。2校目は、その4年後、66年の愛知代表の中京商（現在の中京大中京）です。春の決勝は土佐（高知）、夏の決勝は松山商（愛媛）を下し、甲子園大会通算10度目の優勝を遂げました。3校目は、79年の和歌山代表、尾藤監督率いる箕島です。夏の3回戦で星稜（石川）との延長18回の死闘を乗り越えて栄冠を勝ち取りました。公立校で春夏連覇を成し遂げたのはこの箕島だけなんです。4校目



は、87年、大阪代表のPL学園。立浪、片岡、宮本、野村らその後プロで活躍する選手をそろえ、桑田、清原の「KKコンビ」でも届かなかった快挙を達成しました。5校目は、98年神奈川代表の怪物松坂大輔率いる横浜です。夏は準々決勝で延長17回の末にPL学園を振り切り、準決勝は0対6から8、9回に7点を挙げて明徳義塾（高知）に逆転勝ち。さらに決勝では松坂がノーヒットノーランを演じ、偉業に花を添えました。6校目は、2010年の沖縄代表・南です。左腕島袋の力投と強力打線で勝ち進み、夏の決勝は13対1で東海大相模（神奈川）に大勝し、深紅の大優勝旗が初めて海を越えて沖縄に渡りました。そして、記憶に新しい7校目は、強豪大阪桐蔭です。エース藤浪晋太郎が決勝では78年ぶりの14三振を奪い、光星学院（青森）との春夏同一カード決勝を制し、史上7校目の春夏連覇を達成しました。この長い歴史の中で何千という高校が参加し、わずか7校しか達成していない春夏連覇、改めて凄い事だと実感しました。さて、今回の夏の選手権大会、春の選抜優勝校、智弁学園が勝ち進んでいます。この秋の台立ちが、ある奈良県の代表校です。史上8校目の春夏連覇校となることが出来るのか？楽しみに応援したいところですね！

2016
August
第13号
Shikansakkuwa

Contents

1. ○今月の特集
「甲子園球場」
Cover episode
「春夏連覇」について
2. ○「夏の思い出」
中嶋地産社長
3. ○フロア紹介
1階 朱鳥・園庭
4. ○2階 大宝・宝亀
5. ○3階 天香・天平
6. ○テイクアウト展開
7. ○夏祭り
管理栄養士のコーナー
8. ○「私のお気に入り」
9. ○家族のページ
田中孝雄子様
10. ○夏祭り報告！
「第1回 新築祭」
11. ○「お姉様の写真」
12. ○宮本先生のコーナー
「C国府政治協会の
目標としたい進歩」
●編集後記

『夏の思い出』

残暑お見舞い申し上げます。

今年の夏は(も)、厳しい暑さが続いておりますが、皆様お変わりございませんでしょうか。



先日は萩の台ちどり開設四年目

にして初めての夏祭り『萩華祭』

に多数足をお運び頂きまして、誠に有難うございました。晴天に恵まれすぎ、暑い日での開催となりました。何かとお疲れになられたこと存じます。それでも「楽しかったですよ。」等のお声を沢山かけて頂きましたこと、不行き届きをお詫びすると共に、改めて感謝を申し上げます。来年はもう少し涼しい季節を選んで開催したいと考えています。第二回・萩華祭は『初めての秋祭り』になりそうです。

さて、奈良県内はもとより全国各地で大小さまざまな夏祭りや花火大会が催され、賑わいを見せていますね。私も幼い頃、近所の小さな神社の夏祭りに行くの

が楽しみでした。その日は夕方の早い時間にお風呂に入り、祖母と母に浴衣を着付けてもらうのですが、聞こえてくる神楽の音にそわそわと落着かず「じっとしとき」とよく叱られました。祖母が『湯上げ』で身体を拭いてくれたこと。母が首元に「天花粉」をはたいてくれたこと。お祭りは父と弟の三人で出掛け、たこ焼きをお土産に買って帰ったこと…夏祭りという言葉から、様々なことが思い出されます。

この夏、皆様どのように過ごされるのでしょうか？ 猛暑に負けず、心のアルハムいっぱいの思い出を作ってくださいね。

残暑お見舞い
申し上げます



一階 慶雲・朱鳥の 入居者様のご様子！

4月から6月は、数回に分けて登美ヶ丘イオンへお出かけしました。ご家族とお食事を楽しまれ、一緒に洋服を選んだり、動物と触れ合

れたり、皆さま思い通りの時間を過ごされていきました。外の空気や景色、時間の流れを少しは感じて頂けたのではないでしょうか。



七夕飾りを作りました。入居者様も職員もいろいろな願い事を書きまじらした願い事が叶いますように☆

5月26日は、一階フロアの家族会を行いました。和やかな雰囲気の中、日頃の様子や意見交換等ゆっくりとお話をできる事が出来ました。

(一階職員 下原)

二階 大宝・宝亀の
入居者様のご様子！

5月のミニ運動会。玉入れ、ボール送り、景品抽りゲームを行いました。「運動会なんて何年振りかな？」の声も聞かれましたが、いざ競技が始まると皆さまパワー全開。入居者様、職員共に気持ち良い汗をかきました。



6月は、入居者様と職員が一緒に頑張って、ミニトラ焼き作りを行いました。「出来たてで美味しいね」と仰られ、皆さま、甘いものが大好きなご様子でした。



花の塗り絵をしました。
上手に仕上がりました！



(二階職員 藤村)

三階 天平・天麻の
入居者様のご様子！

5月に買い物へ出かけました。皆さま久々のお買い物で、真剣な様子で選ばれていました。また、参加されなかった方たちは、フロアで、「ごら焼きづくり」を行いました。「美味しい！と笑顔で召し上がられました。



6月には「玉入れ」を行いました。皆さま童心に燃えられ、楽しそうに投げられていました。



(三階職員 安井)

デイサービス便り!

5月中旬に「トマト」と「キウイ」の苗を植えました。最初は育ってくれるか不安でしたが、7月には立派な実が出来ました。利用者様に収穫していただき、喜ばれていました。



7月の七夕に向けて利用者様と職員が力を合わせ、天の川をモチーフにした飾りの作成と願い事を書いていただき、ティフロアの天井に飾りました。利用者様は「天の川みたい」と、みんなで眺められていました。(ティ・趣園)



医療便り!

予防接種と日々の衛生管理(手洗い・うがい・感染症対策等々)によって平成27年10月から28年3月末までに秋の台所では、1人の入居者様もインフルエンザを患うことなく、お過ごし頂けた事を嬉しく感じます。

さて平成28年4月1日、29年3月31日までの対象者様に、高齢者肺炎球菌予防接種のお知らせが、各自治体からご自宅に郵送されています。対象年齢は、各年度の4月1日～翌年3月31日、65・90・95・100歳となられる方です。テレビやマシーナルボスター等でもありますように、肺炎は日本人の死因第3位です。特に高齢者の死亡率は高、1/4～1/3が肺炎球菌によるものと考えられています。

郷土料理の紹介



施設では、月に1回程度、屋食に郷土料理を提供しています。郷土料理には、その土地ならではの食材や調理方法があります。

最近では、ふるさと納税の返礼品などでご当地食材や料理を目にすることがあります。また、B級グルメもご数年の流行りです。どちらにも皆さんの地元への思いが詰まっています。

それでは、今までに施設で提供した郷土料理の献立を紹介いたします。

福岡県…「がめ煮」

博多弁のがめくり込む(寄せ集める)が由来

島根県…「へか焼き」

旬の魚と野菜をすき焼き風に煮込んだもの

宮城県…「油麩丼」

油麩は北部の登米地方に伝わる食材です

奈良県…「飛鳥鍋」

鶏ガラ出汁に牛乳を加えた鍋です

皆さんのゆかりある土地の郷土料理があればぜひ教えて下さい。(管理栄養士 梶井)



福岡県…「がめ煮」



島根県…「へか焼き」



宮城県…「油麩丼」



奈良県…「飛鳥鍋」



ご家族のページ!

※天応ユニット 田中美恵子様のご主人、重正様にご夫婦の良き思い出をお聞きました。

「琵琶湖一周 250Km 歩きました!!」

田中 美恵子

山と溪谷社 発行 歩くマガジン【ワーク】2003春夏号の
特集を見たとき、「これだ…」と思ひ夫婦でチャレンジ…。

初回は、2003（H15）年7月16日 鳥丸半島→瀧田の唐櫃
14.5Kmのウォーキング。朝、近鉄生駒駅におにぎり、
お茶、菓子を買って都へ。JRに乗り換え、草津で下車
バスで「みずの森」で下車。「みずの森」はハスの群生地
ピンクの花で道が埋め尽くされる。

ここも9:30スタート、ウォーキング開始。みずの森→
鳥丸半島→志那途津→高砂橋→高帆北郷→近江大橋
→矢張瀬帆島公園→瀧田の唐櫃→JR石山駅着 14:00

みずの森では水生植物公園あり

鳥丸半島ではびわこ博物館

矢張（やばせ）瀬帆島公園では近江八景が眺める、等々
見どころいっぱい

2回目は 鳥丸半島→あやめ浜へ 13.0Km

3回目は あやめ浜→長命寺へ 10.0Km

以後 毎回 このようにして 22日間全行程を歩いた。

歩く距離は 日によってまちまち、長い日は17Km、短い日は
7Km、平坦な道ばかりではなく、登り、下りが何ヶ所もあり
昇降歩も（湖をまちがえ びわこに転落するような
経験につき当った時もあった）

そして ゴールの日、2007（H19）年12月21日
瀧田の唐櫃に到着 「ヤッター!!!」

このコースの他にも

○海津大碓の橋 ○四ヶ岳の合戦跡 ○新旭の原車村

○針江の河端（かばた）、梅花堂 ○長浜の盆梅

○多景島を鴨水辺での鳥人間（人力飛行機）コンテスト 等々…

次回は レンタサイクルで一周しよう… と言っていたのだが…。

重正（夫）：記



二階 大宝ユニット
松井 ナツ子 様
私が作った水引きの作品の数々。
どう、素敵でしょう? (^.^)



一階 慶雲ユニット
脇田 きよ 様
私は、「活字」が大好きです!
好きな本は、「赤毛のアン」。
新聞を読むのが日課です(*^_^*)

私のお気に入り!



デイサービスセンター
松下 愛子 様
私は、昔から食えることが大好きなんです。
獲れたてのイチゴ〜♪
美味しそうでしょ? (*'∩'*)



三階 天応ユニット
向高 博 様
孫が書いた私の似顔絵!
上手に描いてくれました。
私のお気に入りです! (^o^)

第1回 萩の台ちどり

H28年7月30日(土)14:30~17:30



7月30日(土)快晴の中、賑やかに夏祭り「萩華祭」を開催しました。
ご家族も参加され、萩の台住宅地自治会の皆さんが、盆踊りで盛り上げて下さいました。皆さん、楽しかったですね～!



「萩華祭」開催!!

場所:萩の台ちどり屋外スペース



宮本先生の健康にまつわる四方山話

最新情報

「C型肝炎治療の目覚ましい進歩」

C型肝炎治療がここ2、3年でがらりと変わりました。肝臓専門医が今はどんな治療をしているかご紹介いたします。



今まで肝臓癌を減少させることが出来なかった最大の理由はC型肝炎に対する治療の難しさでした。即ち、数年前まではインターフェロン（以下IFNと略）の注射に飲み薬を併用して患者さんを叱咤激励しながら一生懸命治療していました。しかし、強い副作用のために治療対象となる方が限られ、また途中で治療を断念せざるを得ない人も少なくありませんでした。C型肝炎ウイルスはセロタイプと呼ばれるウイルスの種類の内、日本では1型の方が7割、2型の方が3割です。IFNは1型は効きにくく、2型は効きやすいので、外来で1型という結果が返ってくる患者さんと共に悲しみ、2型の場合は万歳をしたものでした。IFNは患者さんの免疫能を高めることで間接的にウイルスの排除をしていたので

効率が悪く、また、IFNに対して生まれつきの体質として体がよく反応する人と反応しない人が決まっていました。

世の中が様変わりしたのが2015年以降で、根治が難しかったC型肝炎に対して飲み薬だけで根治できるようになりました。この飲み薬はウイルスに対して直接作用するので「直接作用型抗ウイルス薬」と呼ばれます。この飲み薬の出現によって1型、2型に関係なく、また、患者さんの生まれつきの体質には関係なく、ほぼ95%以上の方が治るようになりました。

現時点では、1型のC型肝炎ウイルスに対してはハーボニー（ソホスブビル/レジパスビル）かヴィキラックス（オムビタスビル/パリタプレビル）で、2型の方にはソホスビルとリバビリンの組み合わせで治療します。いずれの治療薬も内服期間は3か月間です。但し、この治療を行う際の留意事項は以下の通りです。併用禁止薬が色々あること、腎機能の悪い人にはソホスビルが使えない事、5%位の方は初めから耐性ウイルスを持っているので薬が効かないことです。それから薬価が非常に高いことです。また、B型肝炎ウイルスを持っている方ではB型肝炎が暴れ出すことがありますので、治療前にはHBs抗原と同時にHBe抗体を調べてB型肝炎を持っていることを

確認してから治療をします。

今後新しい治療薬が次々と開発されていきます。しかし、治療の目標は肝臓癌の予防なので、現時点で素晴らしい薬が手元にあるわけですから新しい治療薬を待つのではなく治療を行うことが大切です。

最後に治療が終わった後も肝臓癌が出てくる場合もあるので定期的なフォローが必要ですよ。

C型肝炎に関しては肝臓専門医が最高の治療を提供できる時代が到来したと言えるでしょう。

後記

ようやく梅雨が終わりを告げ、夏を迎えることができました。猛暑が続く日々の体調を維持することも大変なのではないでしょうか。世間では4年に1度のオリンピックがリオで開催され盛り上がりを見せています。

今年も施設を開設してから初めて夏祭りを開催しました。ご家族や近隣住民の協力もあって無事に終えることができました。入居者様にとっても、また1つ楽しみが増えたのではないのでしょうか。これからも秋の台ちどりの魅力を知ってもらいたいよう鹿鳴草の編集に取り組んで参りたいと思います。

(編集部 堀岡)

【発信元】社会福祉法人晋栄福祉会 萩の台ちどり

〒630-0224 奈良県生駒市萩の台3丁目1-8

URL <http://www.chidorior.jp>